



幕張南小学校の大賀はすの花が、開きました。  
つぼみがだんだんと膨らみ、花が開いた朝の清々しさは、格別です。  
今年は、次々と花が開き、毎日、幸せな気持ちになりました。  
大賀はすの外にも、睡蓮、アジサイ、朝顔、季節の花が咲いています。  
花の世話をするのは、栽培委員、各学年等です。  
花が育っていくのを楽しみに、子供たちが水やりをする姿は、素敵です。  
業間休みに水やりをする栽培委員の姿を小さい学年の子供たちが見えています。  
こうやって、植物を愛する心が培われていくのだと思います。

幕張南小学校には、藤棚と池が並んでいます。  
子供たちは、藤棚の下のベンチでくつろぎ、毎日、池をのぞき、鯉やメダカの生き物たちの様子も観察しています。  
池の管理は、技能員が行っています。  
大賀はすや睡蓮の状態を見ながら、水の量の調節など、日々行っています。

校長になって思うことは、学校は多くの人々で支えられているということです。  
木の剪定、雑草の処理等々、技能員の力なくしては清潔で美しい学校は保てません。  
一人の人の持つ力の重みを感じる毎日です。

これから、何号か教員以外の学校の仕事について、紹介していきたいと思います。